

日本商業新聞社
創業100周年 特別企画

— 進化する業界インフラの新たな挑戦 —

プラネット

新サービスで業界活性化に貢献



株式会社プラネット
代表取締役社長 坂田 政一氏

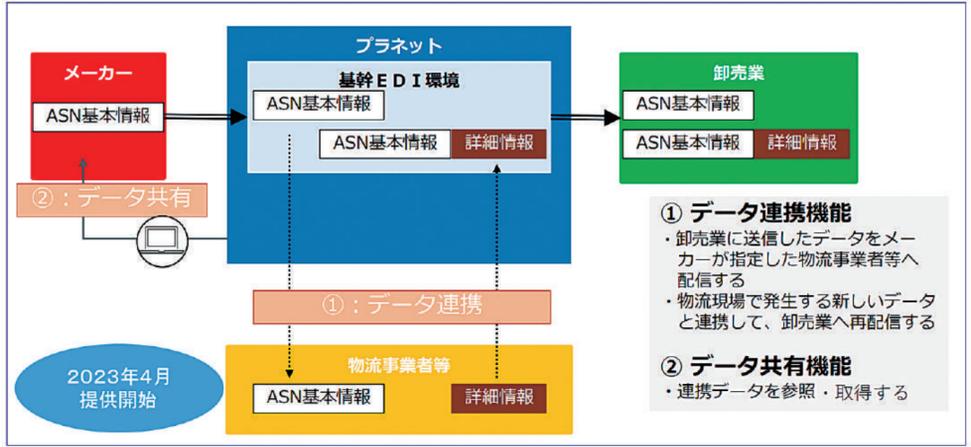


坂田社長、弊社は、物流業界の活性化に貢献するために、新しいサービスを開発しました。これは、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待しています。

ロジスティクスEDIの概要

業界連携支援
物流効率化

事前出荷情報を高度化・可視化し、新たな付加価値を創出



プラネットのシステムを活用し、業界で入出荷などの物流情報を共有。既存の商流情報に、物流分野の情報連携を加えることで、業界が連携した物流効率化を目指す。

「基礎となるEDI」ですが、その進捗をサービスに加えて、新たなお任せください。業界インフラとなる新サービス「TrueData」の創出。4月からの物流業界での労働時間短縮など、物流効率化が実現されています。特に新サービスの導入が本格化すること、物流効率化が実現されています。今も既に「ロジスティクスEDI」ですが、さらにそれが加速することは確実に目指しています。

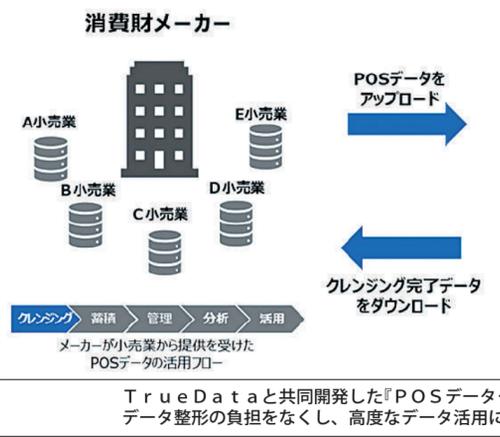
ロジスティクスEDI 物流でも標準化の実現を

物流業界の標準化は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。特に、EDI（電子データ交換）の活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。

データ整形し高度活用 POSデータクレンジング

メーカーにとって、マーケティングに使える加工されたPOSデータは貴重であり、POSデータクレンジング等については、ユーザーから弊社にご要望をいただいたこととほれほれ度度ありました。そこで、データ整形、分析に最適なプロであるTrueData様と提携し、具体的なことでPOSデータクレンジングサービスを提供することなく、TrueDataの商品マスタ、POSデータの取り出し、分析に必要データを付与することができます。例えば、メーカーが自社商品・店舗マスタやT

「インターネット手帳の活用」は、プラネットの大きな強みであり、さらに先に他社サービスよりも早く、電子帳簿保存法に対応し、データ整形の負担をなくし、高度なデータ活用につなげる。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。



TrueDataと共同開発した『POSデータクレンジングサービス』。データ整形の負担をなくし、高度なデータ活用につなげる。

「ロジスティクスEDI」は、物流業界の標準化を実現するための重要な役割を果たしています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。

「ロジスティクスEDI」は、物流業界の標準化を実現するための重要な役割を果たしています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。

プラネットが新たな業界インフラの創出に挑戦している。日用品・化粧品とその周辺業界を支える基幹EDIサービス（メーカーと卸売業間の受発注など）の電子データ交換を提供し、業界の情報インフラとして大きな存在感を持つ同社だが、これまで培ってきた強みを活かした新たな業界インフラの創出を次の成長ビジョンに掲げる。特に、2024年の物流危機が迫る中で業界が連携した持続可能な物流環境のインフラを目指す「ロジスティクスEDI」、TrueDataと業務提携し開発したマーケティング効率化のためのデータ整備のアウトソーシングサービス「POSデータクレンジングサービス」の2つの新サービスは大きな可能性を持ち、注目が集まっている。坂田政一代表取締役社長にお話を伺った。

「ロジスティクスEDI」は、物流業界の標準化を実現するための重要な役割を果たしています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。また、EDIの活用は、業界全体の効率化とコスト削減に大きく貢献するものと期待されています。

「聞き手」 菊池史